

# 令和5年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

## 1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拗音、促音や撥音を正しく表記すること。</li> <li>・助詞「は」「へ」「を」や句読点を正しく使うこと。</li> <li>・自分の思いや考えを明確にして、文章を書くこと。</li> <li>・丁寧な言葉と普段の言葉との違いに気を付けて使うこと。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図を見て自分の考えを説明すること。</li> <li>・順番を正しく数えること。</li> <li>・長さの間接比較及び任意単位を用いて正しく比較すること。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語の知識や技能</li> <li>・自分の思いや考えをもつ力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音節を意識した音読を日常的に行う。</li> <li>・視写や聴写を定期的実施する。</li> <li>・学習の中で、表記方法を確認したり、自分の思いや考えを文章にしたりする機会を設ける。</li> <li>・話す活動の中で丁寧な言葉を使用する例を提示する。</li> <li>・少人数での話し合い活動の中で、話したり聞いたりして自分の思いや考えを共有する機会を設ける。</li> <li>・学校図書館司書や地域の図書館を活用し、多くの本に触れる機会をつくる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形などについて理解し、計算したり絵や図などに表したりする技能</li> <li>・量や図形などに親しみ、算数で学んだことよき気付き、楽しみながら学習する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図、絵、半具体物やデジタル教科書のコンテンツを用いて、場面を整理する時間を設ける。</li> <li>・場面から分かることを少人数で出し合って、共有する場面を設置する。</li> <li>・くり返し、紙テープやひもなどの具体物を用いて間接比較する作業を取り入れる。</li> <li>・正しく測定する方法について、学級全体で確かめた後、少人数で実際に測定する作業場面を設け、児童同士で確認する。</li> </ul>

# 令和5年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

## 1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を正しく読みとること。</li> <li>相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、自分の思いや考えを明確にして、文章を書くこと。</li> <li>話の内容を正しく聞きとること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を正しく捉え、解決すること。</li> <li>式や図を用いて、自分の考えを説明すること。</li> <li>数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。</li> <li>時刻や時間、長さ、かさなどの量感を正しく理解すること。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な国語を理解し、自分の思いや考えを明確にして、読んだり書いたりする力</li> <li>集中して話を聞き、話の内容を捉えて自分の考えをもつ力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を具体的なイメージをもって捉えられるように、各場面におけるキーワードとなる言葉に着目させる。</li> <li>時間的な順序、構成に関わる順序（はじめ・中・終わり）で文章を書くことを繰り返し指導し、伝えたいことを明確な文章で書けるように指導する。</li> <li>学校図書館司書や地域の図書館を活用し、多くの本に触れる機会をつくる。</li> <li>話したり聞いたりする際のポイントやルールを提示する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>量や図形などに親しみ、算数で学んだことよき気付き、生活や学習に活かそうとする力</li> <li>自分の考えを自分の言葉で説明する力</li> <li>問題を捉え、既習事項を使い正しく立式する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬貨幣や数カードを使って具体的な操作を行いながら理解を図る。</li> <li>長さ・かさ・重さの学習では具体物を実際に操作させる体験的活動をより多く取り入れる。</li> <li>提示されている条件を整理し、図や表等を活用して立式させる。半具体物を用いて児童自身に操作させたり、自力解決の時間を確実に設定して、自分の考えを文章等で説明させたりする。</li> <li>授業の始めにめあてを提示、終わりに学習のまとめを確認し学習内容の定着を図る。</li> </ul>

# 令和5年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

## 1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を正しく聞きとること。</li> <li>・自分の考えと調べて分かったことを区別し文章を書くこと。</li> <li>・漢字を正しく読んだり、書いたりすること。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、解決すること。</li> <li>・調べたことについて思考・判断し、それをもとに表現すること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで学習に取り組み、自分の考えを友達に説明すること。</li> <li>・問題を正しく捉え、見通しをもって解決すること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に自然の事象・現象への関心を高めること。</li> <li>・適切な方法を用いて、問題を解決すること。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語を理解し、人との関わりの中で適切に伝え合う力</li> <li>・言葉がもつよさを認識する力、豊かな言語感覚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話したり聞いたりする際のポイントやルールを提示する。また1人1台端末の録画機能を活用し、話し方を客観的に振り返らせたり、正しく聞きとる練習をさせたりする。</li> <li>・週1回、日記や報告文等の簡単な文章を書いたり、それを読み合ったりする時間を設定する。読み手には、質問をしたり、感想を伝えたりさせるようにすることで、書き手に文章の改善を促す。</li> <li>・既習の漢字は必ず使うよう徹底することで習熟を図る。</li> <li>・学校図書館司書や地域の図書館を活用し、多くの本に触れる機会をつくる。</li> </ul>

<p>社 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を設定し、主体的に解決する力</li> <li>・思考・判断したことを表現する力</li> <li>・学習内容を日常生活に活用しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元導入時の教材提示を工夫し、児童が主体的に学習問題をつくり、学習計画を立てられるようにする。</li> <li>・文章や画像、映像など、多様な資料を読み取る経験を積み重ね、その内容を様々な形式で表現させる。</li> <li>・学習内容に関連した新聞記事を紹介したり、消防や警察の職員を招いたりして、日常生活との関連を意識させる。</li> </ul>
<p>算 数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで学習に取り組み、話し合いを通して、よりよい考え方を求めようとする態度</li> <li>・数量や図形などに着目し、適切に表現・判断をしながら、問題を解決したり結果を考察したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用端末、電子黒板を活用し、前時までの板書やノートを記録しておき、既習事項の振り返りや友達の考えの共有等に生かす。また、授業の導入時、電子黒板等を活用し、前時までの振り返りを行う。</li> <li>・少人数・習熟度別授業により、児童が自らの考えについて話し合ったり発表したりする機会を増やす。また学力向上推進ティーチャーによる個別指導を繰り返し行い、分からないことをそのままにせず解決しようとする態度を育てる。</li> <li>・学ぶ楽しさを実感させるために、半具体物を操作したりデジタル教材を活用したりする等の活動を取り入れる。</li> <li>・さわやかタイム（朝、昼の短時間学習）において、1人1台端末のeライブラリを活用し、前学年までの既習事項を確認する時間を設定し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。</li> </ul>
<p>理 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の見方・考え方を働かせ、進んで追究する力</li> <li>・観察、実験などに関する基本的な技能を正しく身に付け、主体的に問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活での体験を根拠にして、自分の考えを予想させる。</li> <li>・問題を解決するための方法を、グループ学習等で検討したり、調べたりする時間を設ける。</li> <li>・問題解決の方法を自己評価する機会を設け、随時、観察・実験などの技能の改善を図る。</li> </ul>

# 令和5年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

## 1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを明確にし、順序立てて文章を書くこと。</li> <li>・友達の考えや、意見を正しく聞くこと。</li> <li>・漢字を正しく読んだり、書いたりすること。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、解決に向け、主体的に取り組むこと。</li> <li>・学習内容と日常生活を関連付けて考えること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組み、自分の考えを発表すること。</li> <li>・問題を正しく捉え、見通しをもって解決すること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事象・現象への関心を高め、体験や生活に関係付けて、予想したり考えたりすること。</li> <li>・適切な方法を考え、問題を解決すること。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語を理解し、人との関わりの中で適切に伝え合う力</li> <li>・言葉がもつよさを認識する力、豊かな言語感覚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に2回程度、文章を書いたり、要約したりする時間を設定し、文章で表現することの経験を増やす。</li> <li>・相手や目的に応じた話し方や聞き方を指導する。既習内容を基に、メモを取る練習を定期的に行う。</li> <li>・1人1台端末を活用して、漢字の用法や書き方練習に取り組み、習熟を図る。</li> <li>・学校図書館司書や地域の図書館を活用し、教室内の言語環境を豊かにする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を設定し、主体的に解決する力</li> <li>・学習内容を日常生活に活用しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材や、ICT機器を活用するなど、単元導入時の教材提示を工夫し、児童が主体的に学習問題、学習計画を立てられるようにする。</li> <li>・学習内容に関連した新聞記事を紹介したり、外部講師を招いたり、校外学習を実施したりして、日常生活との関連性がよく分かるようにする。</li> </ul>

算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組み、話し合いを通して、よりよい考え方を求めようとする態度</li> <li>・数量や図形などに着目し、適切に表現・判断をしながら、問題を解決したり結果を考察したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に取り組む問題解決学習や友達の考えを共有する話し合いの時間を設定する。</li> <li>・少人数・習熟度別授業により、児童が自分の考えについて話し合ったり発表したりする機会を増やす。また学力向上推進ティーチャーによる個別指導を繰り返し行い、わからないことをそのままにせずに解決しようとする態度を育てる。</li> <li>・教師用端末、電子黒板を活用し、前時までの板書やノートを記録しておき、既習事項の振り返りや友達の考えの共有等に生かす。また、授業の導入時、電子黒板等を活用し、前時までの振り返りを行う。</li> <li>・学習意欲の向上のために、具体物を操作したり、デジタル教材を活用したりするなどの算数的活動を取り入れる。</li> </ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の見方・考え方を働かせ、既習内容や生活経験等に基づいた予想や仮説を立て、問題解決の方法を発想し、表現する力</li> <li>・観察、実験などに関する基本的な技能を正しく身に付け、主体的に問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材や、ICT機器を活用して、自然事象や現象と日常生活経験を関連付け、観察や実験の仕方について見通しをもちやすくする。</li> <li>・具体物や映像を用いながら機器の扱い方を理解させる。また、模擬実験を確実にを行い、注意事項を確認することで、細かな指導や支援を行えるようにする。</li> <li>・1人1台端末を活用して、観察結果や実験結果を速やかに共有することで進んで問題解決ができるようにする。</li> </ul>

# 令和5年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

## 1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容を理解すること。</li> <li>様子を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすること。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統や文化について、資料やグラフから読みとること。</li> <li>社会的事象と日常生活を結び付けて考えること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組み、自分の考えを進んで表現すること。</li> <li>問題を正しく捉え、見通しをもって解決したり結果を考察したりすること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組むこと。</li> <li>観察、実験の道具を正しく扱う技能を身に付けること。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語では登場人物の気持ちについて叙述に即して捉え、説明文では段落相互の関係を捉える力</li> <li>様子を表す言葉やことわざの意味を知り、正しく使う力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1週間に1冊程度の本を読んで、登場人物の気持ちや心情の変化を追い、読み取ったことを共有する時間を設定する。</li> <li>説明文では、筆者の考えをグループで読み取ったり、線を引かせるようにしたりする。</li> <li>さわやかタイム（朝の短時間学習）において、1人1台端末を活用して様子を表す言葉及びことわざの意味を調べる時間を設定し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統や文化、先人の働きについて、当時の資料や映像から、読み取る力</li> <li>社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から読み取れることを書き出したり、読み取ったことを共有したりする時間を設定し、資料から情報を得て表現する技能を身に付けさせる。</li> <li>消費者や生産者など、立場の異なる観点からその思いや工夫について考えさせる時間を設定する</li> </ul>

算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組み、発表や検討を通して、よりよい考えを求める力</li> <li>・数量や図形などに着目し、多面的に表現・判断をしながら、問題を解決したり結果を考察したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に取り組む問題解決学習や友達の考えを共有する話合いの時間を設定する。</li> <li>・教師用端末、電子黒板を活用し、前時までの板書やノートを記録しておき、既習事項の振り返りや友達の考えの共有等に生かす。また、授業の導入時、電子黒板等を活用し前時までの振り返りを行う。</li> <li>・少人数・習熟度別授業により、児童が自分の考えを発表する機会を増やす。また学力向上推進ティーチャーによる個別指導を繰り返し行い、一人一人の課題を把握し、分からないことをそのままにせず解決しようとする態度を育てる。</li> <li>・課題に対して、「既習事項を振り返る。」「答えの見当を付ける。」「図や数直線を用いて考える。」「簡単な数字に置き換えて考える。」などの方法について繰り返し指導し、正しい立式ができるようにする。</li> </ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力</li> <li>・観察、実験などに関する基本的な技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に対する予想や仮説、実験方法の検討、実験の結果の予想など、児童に考えさせたり話し合わせたりする時間を設定し、学習過程内で都度見通しをもたせる。また、実物や写真を見せたり、触らせたりして、関心を高める。</li> <li>・調べたこと、記録したことを可視化したり、共有したりすることができるように、1人1台端末や電子黒板などのICT機器を活用する。</li> <li>・観察、実験の際には、具体物を用いながら機器の扱い方を理解させる。</li> <li>・教師が予備実験を行い、適切な指導をすることができるようにする。</li> </ul>



# 令和5年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

## 1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の意味や使い方に対する認識を深めること。</li> <li>・ 自分のもつ情報や考えを文章で適切に表現すること。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象についての知識を増やすこと。</li> <li>・ 社会的事象を多面的に捉え、自分なりの考えをもつこと。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に学習に取り組み、よりよい考えを求めて粘り強く考えること。</li> <li>・ 数量や図形などに着目し、多面的に判断しながら問題を解決したり、結果を考察したりすること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学的な見方、考え方を働かせ学習に取り組むこと。</li> <li>・ 観察、実験についての知識、技能を身に付けること。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話や文章の中で使いこなせる語句を増やしたり、語句と語句との関係を理解したりする力</li> <li>・ 引用したり、図表やグラフを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の意味を国語辞典で調べ、それを用いた文章を書く経験を積ませる。</li> <li>・ 自分と友達の考えを共有したり質問したりする時間を設定する。</li> <li>・ 自分の考えを文章で明確に表現するために、構成を検討したり、考えを形成したりする十分な時間を確保する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象等を理解する力</li> <li>・ 社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関係を考察する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の終わりに、身に付けた知識を押さえ、それらを活用して表現する時間を設定する。</li> <li>・ 資料を読み解き、さまざまな立場から考え、意見を伝え合うグループ活動を設定する。</li> <li>・ 1人1台端末を活用して具体的な事例を示し、日常生活との関連について考えさせる。</li> </ul>

算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組み、発表や検討を通して、よりよい考えを求める力</li> <li>・数量や図形などに着目し、多面的に表現・判断をしながら、問題を解決したり結果を考察したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に取り組む問題解決学習や友達の考えを共有する話合いの時間を設定する。</li> <li>・教師用端末、電子黒板を活用し、前時までの板書やノートを記録しておき、既習事項の振り返りや友達の考えの共有等に生かす。</li> <li>・少人数・習熟度別授業により、児童が自分の考えを発表する機会を増やす。また、分からないことをそのままにせず、質問して解決しようとする態度を育てる。</li> <li>・課題に対して、「既習事項を振り返る。」「答えの見当を付ける。」「図や数直線を用いて考える。」「簡単な数字に置き換えて考える。」などの方法について繰り返し指導し、正しい立式ができるようにする。</li> </ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容や体験を基に、問題となる事象に対して理科の見方・考え方を働かせて考える力</li> <li>・観察、実験などに関する基本的な知識、技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末を活用して具体的な事例を示し、学習内容と日常生活との関連を図るとともに、自然の事物・現象への関心を高め、問題解決の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>・観察、実験などから明らかになった事象と関連付けて、問題を解決する時間を設定する。</li> <li>・視聴覚教材や、ICT機器を効果的に活用して、観察、実験に関する基本的な知識、技能を身に付けさせる。</li> </ul>